

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アウトドアで村おこし事業
事業主体 (連絡先)	生坂村観光協会 (役場振興課 0263-69-3112)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,699,376円 (うち支援金: 3,905,000円)

事業内容

1. 車いすパラグライダー体験の実施

○生坂スカイサポートの指導のもと、車いすパラグライダー体験を実施した。専用車いすの納期が遅れたことにより十分な実績が上げられなかったが、体験に来た67歳の女性は大変満足していたことから、今後体験型観光の起爆剤になると感じた。

体験者数: 5名 (内4名は撮影モデル)

2. PR動画の作成

(公財)長野県障がい者スポーツ協会の協力のもと、PR動画の作成を行なった。モデルには実際に脚に障がいのある県内の女性に出演していただき、脚が不自由でもパラグライダーが出来るというこや達成感を感じてもらえる映像に仕上がった。



【目標・ねらい】

- ①アウトドアを活かした誘客
- ②車いすパラグライダー体験の実施
- ③関係機関との連携体制の構築

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 車いすパラグライダーの備品を整備して、一般参加者を対象に募集を行なった。日本初の体験ということで村の認知度向上、イメージアップに繋がると感じたが、専用車いすの納品が遅れたことや認知度が低いことから、十分な効果を得られなかったので、効率的な集客方法を模索していきたい。

② PR動画の撮影モデルには、実際に脚に障がいをもった女性にご協力いただいたことで、映像を見た方が自分にも出来るかもしれないという自信に繋がる映像に仕上がった。映像は、村公式ホームページやYOUTUBE、SNSなどに掲載済みで閲覧数も伸びていることから効率的な映像プロモーションが図れた。今後はイベントなどでも積極的に活用していきたい。

※自己評価【C】

【理由】

専用車いすの納期が遅れたことで、体験開催期間が大幅に短くなってしまった。しかしながら、長野県障がい者スポーツ協会との連携を構築できたことから次年度以降の事業展開に繋げることが出来た。今後、車いすパラグライダー体験が新たな障がい者スポーツとして定着するように業界関係者や障がい者スポーツ協会へのアプローチを強く意識していきたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

身体に障がいのある方や高齢者でも体験が出来る車いすパラグライダーは、今までの常識を覆す魅力的な体験だと感じた。障がい者スポーツ協会や長野県シニア大学などの関係団体と連携を、効率的なPRを行ない、利用者増加に努めたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある